

分担金・拠出金の名称		中東淡水化研究センター(MEDRC)拠出金	拠出金等の種別	平成29年度 予算額 (当初予算)	3,310千円	総合評価
拠出先の国際機関等の名称		中東淡水化研究センター(MEDRC)	任意拠出金			B
国際機関等の概要及び 成果目標		<p>(1) 当該機関の設立経緯等・目的 中東淡水化研究センター(MEDRC)は、1996年に発足。機関の目的は、「淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の進行、実施、調整などを行うこと。また、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス並びにその他地域の人々の生活水準の向上に貢献すること」(設立協定)とされている。</p> <p>(2) 拠出に当たっての成果目標 淡水化が死活問題であるパレスチナを支援するとともに、淡水化技術者の育成を通じた中東和平当事者の生活水準の向上に貢献することを目標とする。</p>				
分類	評価基準	実績・成果等				
I 当該機関等 の活動・組織 について	1 当該機関等の 専門分野にお ける活動の成果・ 影響力	<ul style="list-style-type: none"> ・中東和平関連の多国間協議の枠組で設立された機関のうち、現在も実質的な活動を続けている機関として国際社会から高い評価を得ている。5カ年戦略計画に沿って、淡水化分野に係る研究、研修及び開発協力を活動の柱として活動。特に、中東和平の当事国であるイスラエル、ヨルダン、パレスチナの三者間で行う協議や研修は、当事者間の信頼醸成に大きく貢献するもの(2016年は、協議3回、研修3回実施)。 ・各事業の活動状況については定期的にホームページで写真付きで公表しており、対外的なビジビリティの確保に努めている。 ・各国の国際機関等と積極的に覚書(MOU)を作成したり、パートナーシップを組み、連携を強化している(2017年3月には、国際協力機構(JICA)と覚書(MOC)を作成)。MOCに基づき、2017年4月にMEDRCがホストした海水淡水化コストシェアリングに関するワークショップにJICAが参加した。 				
	2 当該機関等の 組織・財政マネ ジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・MEDRCの執行済み予算については、民間監査法人であるグラントソントンが毎年監査を行い、その報告書を毎年9月に開催される執行理事会で報告している。 ・2013年に就任したオクイン事務局長の下、財政維持のための運営方針に関する新戦略が策定され、人件費削減や事業の効率化など、財政改革に取り組んでいる。持続可能な国際機関モデルの構築のため、ドナーからの支援に加えて、企業の研修の受注等を通じた独自財源の確保にも力を入れている。 				
II 当該機関等と日本 との関係につ いて	3 日本の外交 課題遂行にお ける当該機関等 の有用性	<ul style="list-style-type: none"> ・MEDRCへの拠出は、我が国による中東和平・パレスチナ支援の一環であり、中東地域の平和と安定は、我が国の平和と安定、同地域にエネルギーの安定供給を依存する経済の安定的成長の確保の観点から極めて重要な問題である。また、MEDRCは、同地域で死活的に重要な淡水の供給に主要な役割を果たしており、本拠出金が減額等された場合には、同地域における人道的観点からも問題となりうる。 ・中東和平問題の当事者であるパレスチナ及びヨルダンにおいて、水分野においても支援を実施しているJICAと2017年3月にMOCを作成した。今後、両者の活動の連携を強化していく方針。 ・予算と活動計画の承認を行う執行理事会(加盟国10か国の代表者1名及び技術専門家1名が出席)には、日本執行理事(外務省中東第一課長又はその代理)が出席し、予算の執行等に関して、意思決定に関与している。 ・オクイン事務局長が2017年3月に訪日し、藺浦外務副大臣を表敬したほか、上村外務省中東アフリカ局長と意見交換を実施した。また、前述のとおりJICAとの間でMOCを作成し、今後の連携策につき協議を行った。 				
	4 当該機関等 における日本人 職員・ポストの状 況等	<ul style="list-style-type: none"> ・当該機関においては、日本人職員数は0(2017年6月時点、常勤の全職員数は15)。 ・MEDRC側は日本人職員の採用に積極的であり、今後、新規職員の採用がある際は、積極的にマッチングをおこなっていきたい。 ・年2回(3月及び9月)実施される執行理事会には、日本の技術顧問として淡水化技術の専門家1名が毎回出席して、活動計画に対する助言を行い、執行理事会における意思決定に参画している。 				
	5 日本の拠出 金等の執行管理 におけるPDCA サイクルの確保	<p>以下のとおりPCDAサイクルが確保されている。</p> <p>PLAN: 5カ年戦略計画(執行理事会で承認されたもの)に基づき、MEDRC事務局が次年度の事業計画及び予算案を作成する。加盟国代表が出席する執行理事会の前に各加盟国に予算案が配布され、当該理事会において事務局側の説明に基づき、検討の上、承認される。</p> <p>DO: 8月頃、日本から拠出金が支払われる。在外公館による現地視察、当該機関との協議等により、適時適切な事業のモニタリングを行う。</p> <p>CHECK: 執行理事会に対する事業報告、外部監査報告書により成果を評価。</p> <p>ACT: 年2回の執行理事会及び不定期の協議を通じて事業及び運営の改善を行っている。</p>				
担当課室名	中東第一課					